

第 38 回耐震基準小委員会 議事録

日時：平成 19 年 3 月 7 日（水）10:00～13:00

場所：土木学会 E 会議室

出席者：9 名

配布資料

- 38-1 第 37 回耐震基準小委員会 議事録（案）
- 38-2 発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針（佐藤氏話題提供資料）
- 38-3 土木構造物の耐震設計ガイドライン（仮称）
- 38-4 平成 18 年度 ISO23469 適合設計事例集 WG 活動報告

議事次第

1. 話題提供

①渡辺健治氏（鉄道総合技術研究所）

「鉄道構造物等設計標準・同解説－土構造物－」改訂について

②佐藤清隆氏（電力中央研究所）（資料 38-2）

「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」改訂について

2. 議事録の確認

3. WG 報告

①耐震設計法ガイドライン WG（室野委員）

- ・新しい体制で 2 年間で統合ガイドラインを再編集する。
- ・基本方針として、技術の展開を促し、対象範囲を明確にする（橋梁、土構造物、地下構造物等）。
- ・ガイドラインの構成は、本編、解析編、手引きからなる。
- ・体制は、小委員会内にガイドライン編集 WG，その下に執筆担当者からなる SWG を置く。
- ・ガイドライン WG は室野委員を主査とし、本編を執筆する。メンバーは委員長，幹事長，前回執筆者など，10 名程度で構成することとし，3 月末には確定させる。
- ・ガイドライン担当執筆者は解説編を執筆する。まず，各基準の現状，問題点を調査することから始める。
- ・解説編の各章ごとに SWS を設置し，主査はガイドライン編集 WG メンバーとする。
- ・SWS のメンバーの小委員会への加入は任意とする。
- ・スケジュールとして，本編，解説編についての 2 年間の計画案が承認された。
- ・手引きは解説編に示された手法を用いての計算例を示し，随時発刊する方針で進める。

②設計事例集 WG（工藤委員，資料 38-2）

- ・研究体制が示された。
- ・設計事例集の日本語版は 3～4 月，英語版を 6 月末に完成予定。
- ・WG の計画案を作成してもらいたい。

③経済性照査 WG（澤田委員長）

- ・土木学会全国大会において，計画学委員会と合同で研究討論会を開催する．
- ・最終報告書を研究討論会までに作成し，研究討論会で成果を発表する．
- ・研究討論会をもって，WG を終了する．
- ・今後，計画学と地震工学を関連付けた活動を目指し，WG の立ち上げを計画する．

④認証機関 WG

- ・当麻主査がご多忙のため，新たな主査を指名してもらっても構わない．
- ・WG としてどのように取り組むのか，計画案の作成をお願いする．
- ・認証例として減衰ゴマでの認証例がある．話題提供をお願いしてはどうか．

⑤民間基準化 WG

- ・H19 年度の計画案を示してもらう．
- ・中村主査に小委員会の委員になって頂く．

4. その他

各 WG 幹事に HP 作成を依頼する．